前回の課題文章につけられた吹き出しコメントを読んだ。→はい

＊スマートフォンやタブレットでは、吹き出しコメントが表示されない場合があります。その場合はパソコンで確認してください。

前回の模範文章を読んだ。→いいえ

（当てはまる回答だけを残してください。評価には含めません。指導の参考にします。）

【第３回】

多文化共生の必要条件

1F170539

武田政和

　著者は、《互いの文化圏に関する地理・歴史の理解が多文化共生の必要条件である》と考える。なぜなら、各文化にはその文化の形成された文化圏の地理条件や歴史的背景が色濃く反映されているである。

　例えば、日本の住居は木造建築が主流であるが、欧米は基本的に石造りの家が多い。これは、日本と欧米の気候条件−ひいては地理条件の差が現れた結果である。また、日本の庭園は自然との調和が重視されるのに対して、欧米では人工的な美しさが重視されている。これは、島国である日本が基本的に日本人という単一民族で文化を形成してきたのに対し、各国が陸続きである欧米は他の民族が流入するたびに、もともとあった文化を壊し、新たな文化を形成してきたという歴史的背景によるものである。

　他にも各文化には様々な違いがあるが、その理由は地理条件によるものか歴史的背景によるものかの二つに一つである。各文化圏の地理や歴史を理解していれば、その文化を一方的に批判するだけでなく、寛容な心で受け入れることが可能となるのである。

作業１　語句が一貫して使われているか確かめましょう。 同じ意味を伝えようとしているのに、異なる語句を使っていませんか。語句がぶれているだけならば、語句を統一しましょう。

作業２　他の語句に置き換えられる「の」は、もうありませんか。点検しましょう。

コメント欄

　今回の課題は、各文の末尾を極力「である」で終わらせるよう心がけました。今回もご指摘等あれば、徹底的に行っていただけますと幸いです。

　よろしくお願いします。

コメント欄への返信

　武田さんこんにちは。第３回目の課題もよく頑張りました。である調の意識はよくできていますね。ただし、黄色の箇所は気を付けましょう。たしかに、課題にこたえる際に「筆者は～と考える」としてしまう気持ちはよくわかります。しかし、学術的文章では考えた中身だけをかくのでしたね。既習事項も反映しながら文章を作成するようにしましょうね！次回もがんばりましょう！

評価のポイントと評価点　　　　　　　　　　　　　　　　　指導員（　河股　久司　）

3.5／4点　意味に注意して語句が選ばれている。

・文の中で意味が重複しないように語句が使われている。

・文章の途中で意味がすり変わらないように語句が使われている。

4.5／5点　意味が特定されている。

・指示代名詞をできるだけ置き換えている。

・助詞の「の」をできるだけ置き換えている。

・「～化」「～的」など意味が曖昧でわかりにくい語の使用をできるだけ避けている。

2／2点　前回までに学習した内容が反映されている。

1／1点　コメント欄を使い、指導員とコミュニケーションをはかっている。

--------------------------------------------------------------------------------

1／2点　ボーナス：次の事にチャレンジしてみて下さい！

1／1点　「～や～」で並列させている。

0／1点　分かりにくい語句（抽象的な語句や専門用語など）の意味が説明されている。

--------------------------------------------------------------------------------

12点満点＋ボーナス2点

〔　12 点中　11　　　点〕

＋ボーナス点〔　2点中　1　　　点〕